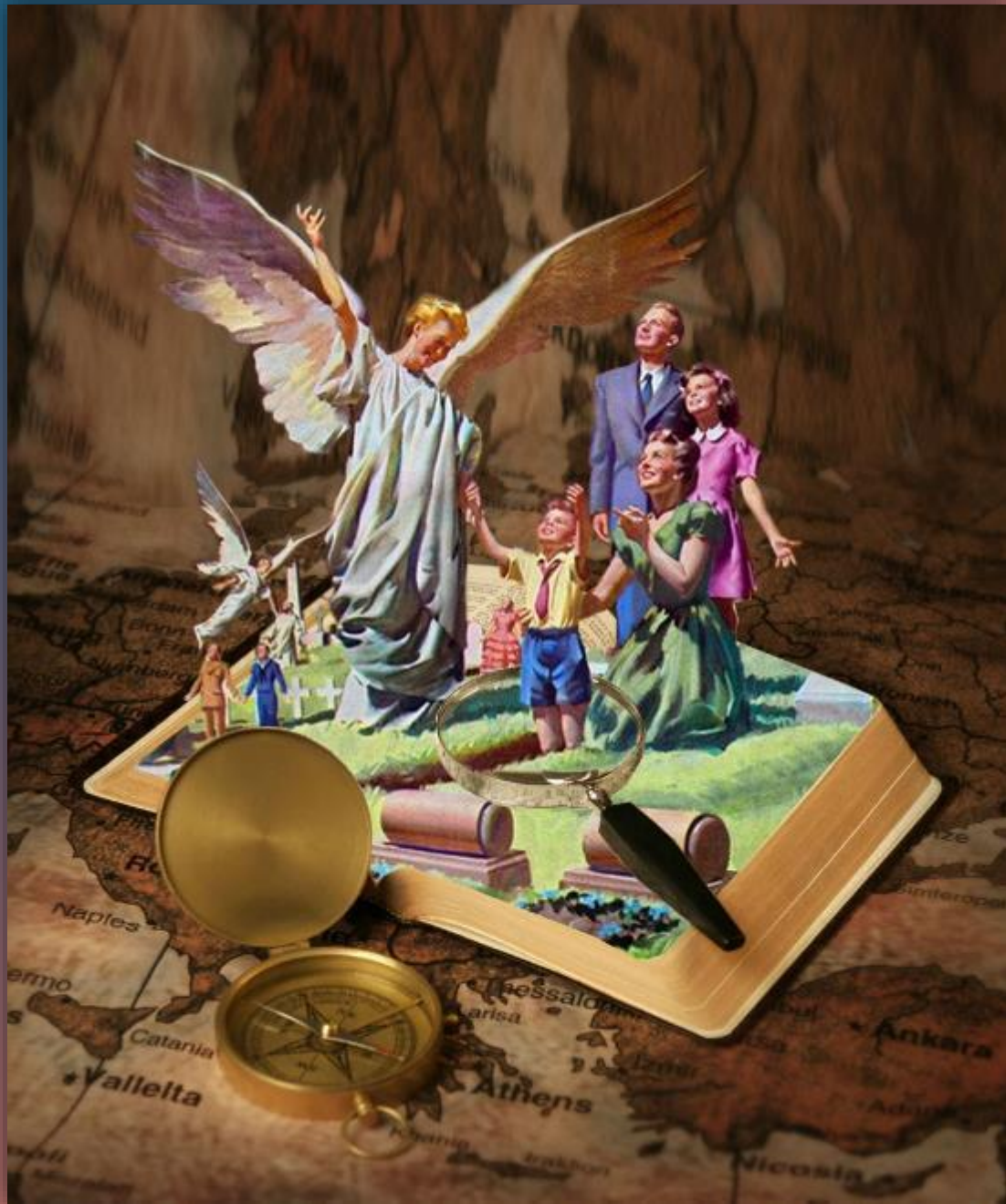




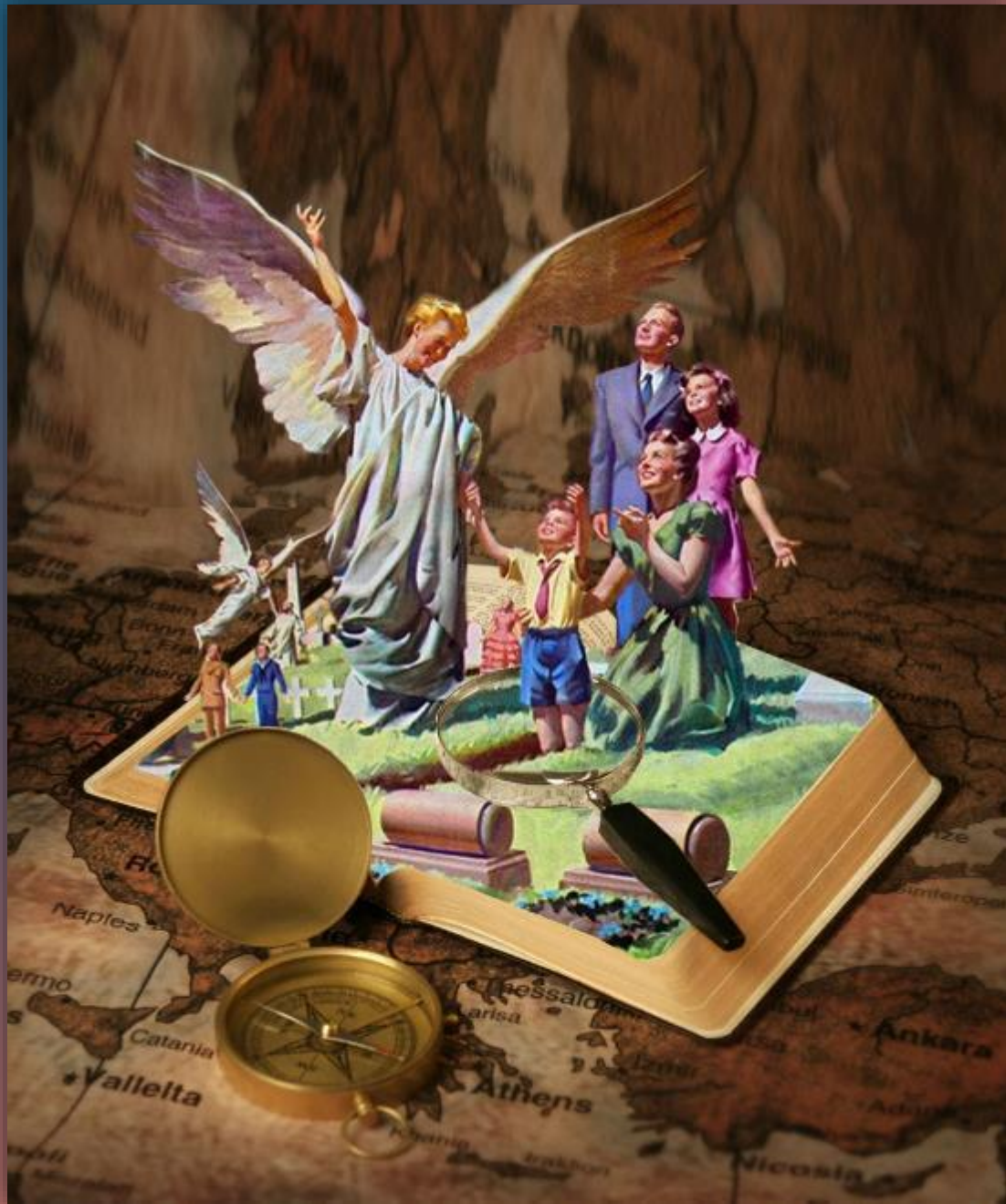
暴かれた心霊術

2024年6月8日 第10課



すなわち、合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになります。

(1テサロニケ 4:16, 17 新共同訳)

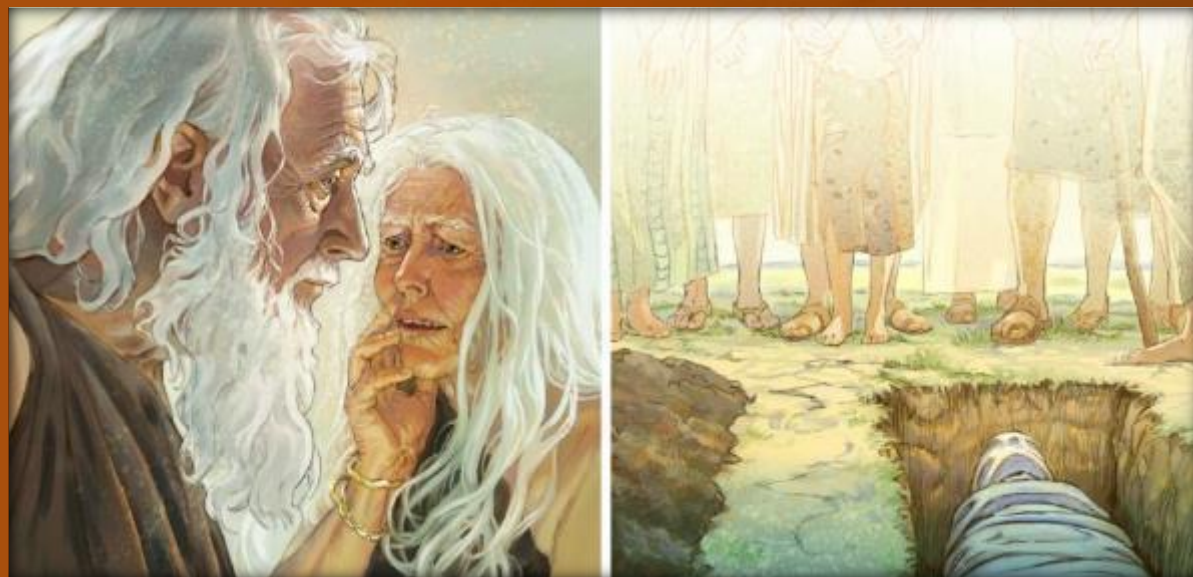


すなわち、主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初によみがえり、それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。
(1テサロニケ 4:16, 17 口語訳)

悪魔が私たちについて最初の嘘はこうだった：
「（あなたは）決して死ぬことはない」（創3:4）。
エバはその言葉を信じた！

ほとんどすべての人類が信じてきた。不滅の魂があると。
何らかの形で、私たちは不滅の魂を持っていると。

それに対して聖書は、「罪を犯した本人が死ぬ」
（エゼ18:20）とはっきりと強調している。宇宙的な
対立は、重要な質問を中心に展開する：悪魔と神、
どちらを信じるか？



心霊術と死:

- ➔ 不滅の魂？
- ➔ 旧約聖書における死
- ➔ 新約聖書における死



終末時代の心霊術:

- ➔ しるしと不思議
- ➔ 心霊術の目的

心霊術

と

死



不滅の魂？

雲が消えて、なくなるように、／陰府に下る者は上がって来ることがない。
(ヨブ記 7:9 口語訳)



一般的に、人間には肉体と精神（あるいは魂）という二重の性質があると信じられている。この2つの部分は独立して生きることができると信じられている。

しかし聖書は、私たちは3つの「部分」からできていると教えている：「霊、魂、体」（1テサ5:23）である。また、これらの部分は相互に依存していると教えている。創2:7は、神が肉体を創造し、その肉体に生命の息（霊）を吹き込み、生きとし生けるもの（ヘブライ語でネフェシュ＝「魂」）となったことを教えている。

したがって、魂とは肉体と霊（神の息）の結合である。私たちは魂を持っているのではない、魂があるのだ。

生命の息（霊）が去れば、私たちの魂も存在しなくなる。私たちの存在のどの部分も、死後は意識的な存在を持たない。肉体は死に、霊（生命力）はその与え主のもとに戻り、肉体と霊の結合の産物である魂は存在しなくなる（コヘ12:1-7、エゼ18:20、ヨブ7:7-9）。



不滅の魂？

雲が消えて、なくなるように、／陰府に下る者は上がって来ることがない。
(ヨブ記 7:9 口語訳)



罪が私たちの世界に入り込んで以来、サタンは死者と交信し、死者から現在や未来に関する特別な知識を得ようとする人々を利用してきた。

呪文や魔術、占星術など他の手段も使うこの種の人々は、現在スピリチュアリストとして知られている。



聖書は、「これらの習慣を行う者は、主にとって忌むべき者となる」(申18:10-12)と教えている。この罪の罰は死であった(レビ20:27)。

「人々があなたがたに「霊媒や、ささやき、うめく口寄せに尋ねよ」と言っても、民は自分の神に尋ねるべきではないのか。生きている者のために、死人に尋ねなければならないのか。ただ、みおしえと証しに尋ねなければならない。もし、このことばにしたがって語らないなら、その人に夜明けはない。」(イザ8:19-20 新改訳2017)。

日曜日

他の宗派のクリスチャンと親しくなろうと
するとき、死後の状態についての見解の
相違はどのように乗り越えられると
思いますか？

旧約聖書における死

主を賛美するのは死者ではない／沈黙の国へ去った人々ではない。(詩編 115:17)



葬儀の席で“親族は地獄へ直行します”とは誰も言わないが、多くの信仰者が、死後、“善人”は直接天国へ昇り、イエスと共にあり、“悪人”は罰せられるか、たださまようだけだと考えている。しかし、聖書はこのことについてどう教えているのだろうか？

死んでから神を賛美することができるだろうか？

詩編 115:17

死んだ人は、家族や友人に何が起こるか知っているのだろうか？

ヨブ 14:21

死者は生者と交流できるのか？

コヘレト 9:6

私たちは死後も思考を続けることができるのだろうか？

コヘレト 9:5

死後、私たちはどんな活動もできるのだろうか？

コヘレト 9:10

旧約聖書は、死は「眠り」であると教えている。神が私たちを呼び戻したときにのみ目覚めるために眠るのだ（王上2:10、14:20、ダニ 12:13）。



月曜日

死後の状態を聖書に基づいて理解することは
なぜ大切なのですか？

新約聖書における死

こうお話しになり、また、その後で言われた。「わたしたちの友ラザロが眠っている。しかし、わたしは彼を起こしに行く。」(ヨハネ 11:11)

新約聖書は、旧約聖書と同様に、死はイエスだけが私たちを目覚めさせることのできる眠りであると教えている(ヨハ11:11-14、ヨハ5:28-29)。

パウロはテサロニケの信徒への手紙の中で、「眠っている人々」、つまりすでに死んだ人々について、彼らは復活してイエスの再臨の時に一緒に行くことを教えた(1テサ4:13-18)。もしパウロが、信者は死んだら直接イエスのもとに行くこと信じていたなら、そのように話したはずだ。



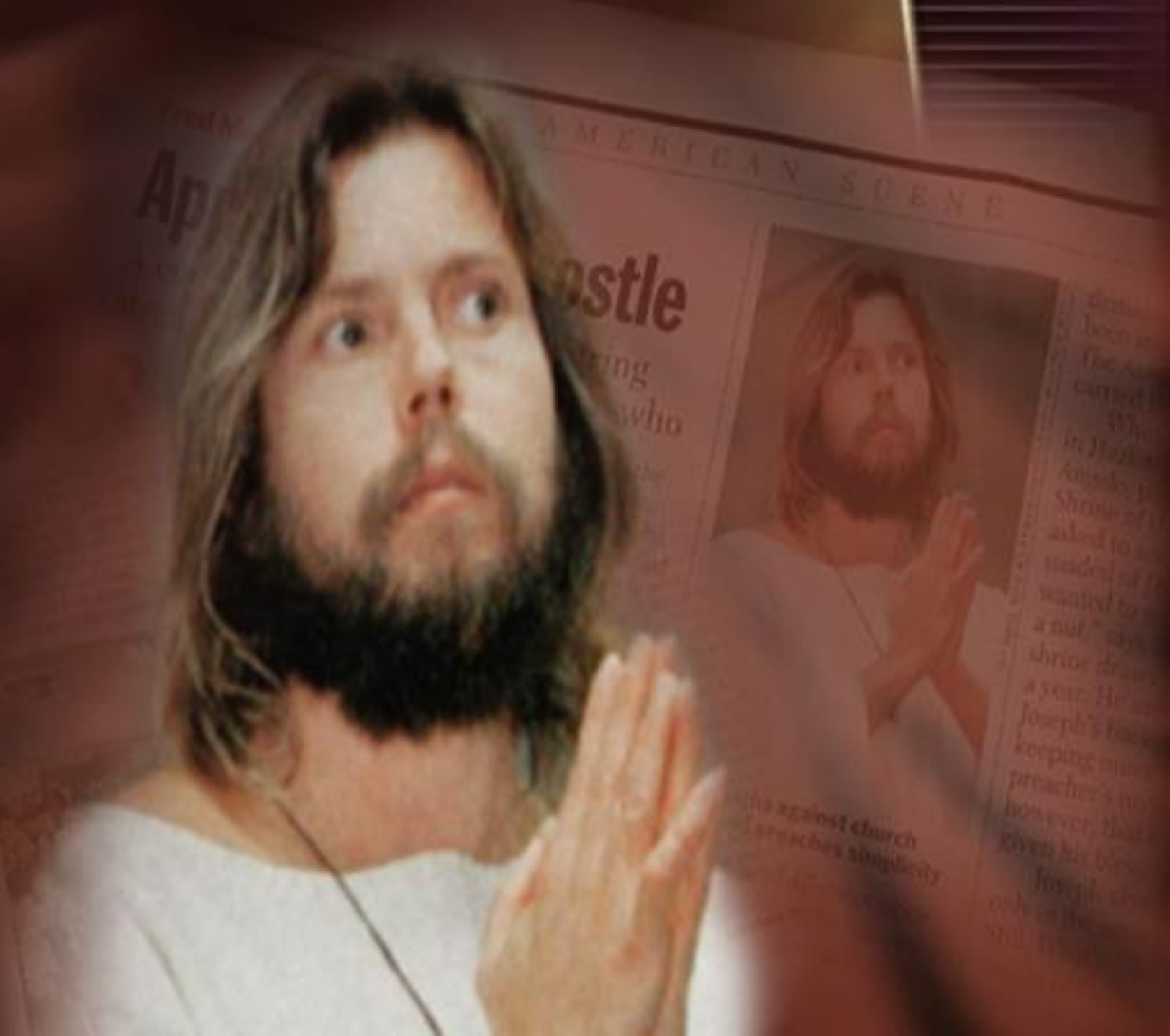
死者について語る時、パウロは、死者は「主の来臨の時に」生かされる(その前に生かされるのではない)と言っている(1コリ15:22-24)。パウロはまた、「すべての者が眠るのではない」とも言っている。死せる義人は復活して朽ちない体を着、生きている義人は朽ちない体に変えられるのです。(1コ15:51-52)。

復活は、イエスと共にあるための鍵である。復活なくして救いはない(1コ15:13-18)。私たちが嗣業を受けるのは復活の時なので、その時を待たなければならない(1ペト1:3-5)。

火曜日

再臨の希望はあなたの信仰にとって、
どれ程の重要性があるのでしょうか？

終末時代 の 心霊術



しるしと不思議

偽メシアや偽預言者が現れて、しるしや不思議な業を行い、できれば、選ばれた人たちを惑わそうとするからである。(マルコ 13:22)

心霊術（スピリチュアリズム）はサタンが直接指導する運動であり、その根底にあるのは魂の不滅性である。その信者は死者と交信できると信じ、死者から超 自然的な力を授かると主張する。

今は神によって制限されているが、やがて神は、彼らが見る者を驚かせるような、反論の余地のない奇跡を行うことを許される時が来る（マコ13:22、2テサ2:9、黙7:1、13:13-14）。

末期の病人が完全に回復するのを見た後、自動車が私たちが轢かないように停止するのを見た後、今は亡き親愛なる母が私たちの目の前で優しく語りかけるのを見た後.....私たちはそのような不思議を行う者を信じないだろうか？

私たちは自分の感覚や感情で神の業とサタンの業を見分けることができるだろうか？



神の御言葉を知っていることへの安心と、イエスへの完全な信頼だけが、敵の最後の誘惑に抵抗することを可能にする（イザ8:20、エフェ6:13）。



水曜日

サタン悪魔があなたを今、
巧みに攻撃しているとしたら、
どんな方法を用いているとおもいますか？
あなたはどのようにサタン悪魔の欺瞞に
戦っていますか。

心霊術の目的

これはしるしを行う悪霊どもの霊であって、全世界の王たちのところへ出て行った。それは、全能者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。(黙示録 16:14)

サタンの意図は、神との戦いに勝利し、神の政府を転覆させ、神の王座を占領することである(イザ14:13-14)。そのためには、私たちを支配する政治的権力から始まって、あらゆる戦略を使ってすべての人を味方につけるだろう(黙16:12-14)。

「欺瞞の大いなるドラマの頂点に立つ行為として、サタン自身がキリストになりすます」(EGW『大いなる論争』第39章p.625)。



しかし、イエスが物語に終止符を打つのはその瞬間である(黙16:15)。サタンは敗北した敵だ。キリストによって打ち負かされ、キリストの血にしがみついた者たちによって打ち負かされる(1ヨハ2:14、4:3-4、黙3:21、5:5、12:11)。

霊能者の欺瞞に立ち向かう者の特徴的なしるしは、次のとおりである：彼らは「神の掟を守り、イエスに対する信仰を守り続ける」者たちです(黙14:12)。



木曜日

愛する大切な存在を亡くした人を、
あなたはどのように慰めますか？

「聖徒たちは、聖書から導かれる現在の真理を十分に理解していなければならない。彼らは死者の状態を理解しなければならない。なぜなら、悪魔の霊がまだ彼らの前に現れ、最愛の親族や友人であると偽って、彼らに教義に反することを告げるからである。彼らは同情を誘うために力を尽くし、彼らの前で奇跡を起こし、彼らが宣言したことを確認する。神の民は、死者は何も知らず、このように現れる者は悪魔の霊であるという聖書の真理をもって、これらの霊に対抗する準備をしなければならない。」